

2014年9月:JaCVAM活動マンスリーレポート

| NO. | 項 目 | 記 載 内 容 |
|-----------------------|-------------------|--|
| 和文総説 | | |
| 1 | 発表者名 | 小島 肇 |
| | 演題名 | 化粧品・医薬部外品の安全性評価のための動物実験代替法開発の現状と課題 |
| | 学会名, 発表年月及び場所 | フレグランスジャーナル, 12-19 (2014) |
| 国内学会 | | |
| 1 | 発表者名 | 小島 肇 |
| | 演題名 | 実験動物代替法の現状と化学品メーカーの取り組み |
| | 学会名, 発表年月及び場所 | 新科学技術推進協会 ライフサイエンス技術部会 材料分科講演会 (2014.9) (東京) |
| 2 | 発表者名 | 小島 肇 |
| | 演題名 | 動物実験代替法開発の国内外の動向と化粧品・医薬部外品への代替法活用の現状について |
| | 学会名, 発表年月及び場所 | 皮膚基礎研究クラスターフォーラム (2014.9) (東京) |
| レギュラトリーサイエンス学会 | | |
| 1 | 参加者名 | 小島 肇 |
| | 会議名 (英文の場合は和訳も記載) | Scientific Advisory Committee on Alternative Toxicological Methods(SACATM) and an International Cooperation on Alternative Test Methods (ICATM) (代替法科学諮問委員会会議および代替法国際協力調整会議) |
| | 開催場所, 年月 | 米国・ローリー市 NIEHS (米国環境健康科学研究所), 2014年9月16-18日 |
| | 会議内容 (150字以内) | 米国 動物実験代替法評価センター (NICEATM)より, 検討中のテーマとして, 感作性試験, 生殖毒性試験, 急性毒性試験, 内分泌かく乱試験などの説明を受けた. NICEATMはいずれもOECDやICHで進んでいるプロジェクトとは別の計画を進めていた. |